

「NHKのど自慢」 出場者・観覧者募集

問い合わせ NHK前橋放送局 ☎027-251-1711 (平日、午前9時30分～午後6時)
または、かぶら文化ホールへ。



日時 <本番> 11月1日(日) 開場/午前11時 開演/午前11時45分 終演予定/午後1時30分
(1歳以上のお子様から、観覧には入場整理券が必要です。)
<予選会> 10月31日(土) 受付/正午 予選開始/午後1時 結果発表/午後6時10分(予定)
(予選会は観覧自由ですが、混雑の状況により入場をお断りする場合があります。)

会場 かぶら文化ホール(〒370-2345 上黒岩1674-1) ☎60-1230 ㊟60-1231

主催 NHK前橋放送局・富岡市

出演 ゲスト/堀内孝雄・秋元順子 出場/予選を通過した20組の皆さん 司会/徳田章アナウンサー

放送予定 11月1日(日) 午後0時15分～1時 <全国生放送(総合テレビ、衛星第2、ラジオ第1、国際放送)>

申し込み方法 出場・観覧とも、9月29日(火) (必着) までに、下記のとおり郵便往復はがきでお申し込みください。

<出場> 申し込み先 NHK前橋放送局(〒371-8555) 「NHKのど自慢」出場係

(返信面の表) (返信面の裏)

〒 名前 様	あなたの住所
-----------	--------

(返信面の裏は無記入)

●出場の申し込みは、1人(または1組)1通までです。●出場資格は15歳以上(中学生以下の出場は不可)、原則、アマチュアの人に限ります。●応募多数の場合は定員250組を選出の上、予選会出場のご案内を送ります。

<観覧> 申し込み先 かぶら文化ホール(住所は会場と同じ) 「NHKのど自慢」観覧係

(返信面の表) (返信面の裏)

〒 名前 様	あなたの住所
-----------	--------

(返信面の裏は無記入)

●観覧の申し込みは、1人1通までです。●応募多数の場合は抽選の上、入場整理券(1枚2名様入場)を送ります。●オークションなどでの転売を目的とした申し込みは固くお断りします。●売買を目的とした申し込みと判明した場合は、抽選対象外となります。

※「出場」と「観覧」で、申し込み先が違いますので、ご注意ください。
※ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡のほか、番組やイベントのご案内、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

企画展示

高橋まゆみ創作人形展 — 故郷からのおくりもの —

長野県在住の創作人形作家、高橋まゆみさんの作品を紹介します。田舎のおばあちゃんに会ったような、素朴で素直な人形たちの表情は、忘れていたたいせつなものを思い出させてくれることでしょう。

●開催日 8月25日(火)～9月23日(水)
●会場 市立美術博物館
●観覧料 ▷一般=600円
▷大学・高校生=300円
▷中学生以下=無料



※8月19日(水)～12月3日(木)に、常設展示室で「收藏品展」を開催します。通常の料金で観覧できます。企画展の開催中は、企画展の観覧料となります。※岡部温故館は、10月7日(水)～10月9日(金)まで、館内の消毒・清掃作業のため休館となります。

問い合わせ 市立美術博物館 ☎62-6200

市民の文芸

漢詩 齋藤清次 選

初夏偶吟
出門枝上緑陰繁
杜宇啼過郭外村
麥浪如潮心氣爽
南薰習習滌塵煩

梅天閑詠
書窓簷樹綠葱葱
萬草絡垣冥霧朦
應看庭陰蝸試篆
榴花一點雨中紅

幽巷雲迷十日霖
冥濛竹徑綠成陰
泥深小院無人訪
苔氣欲晴閑撫琴

梅天閑詠 (富岡) 津金 智子
幽巷 雲は迷う十日の霖
冥濛として竹徑 緑陰を成す
泥深うして小院 人の訪う無し
苔氣 晴らさんと欲して閑かに琴を撫す

俳句 高橋洋一 選

眉太く引いて暑に堪ふボランティア(下黒石) 吉田シズ江
農の汗シヤワーで流し食事会 (曾木) 入山 静子
手の汗を拭いて園児の肩かりる (富岡) 折茂 昭
蜀黍の粒の不揃ひ点字に似 (宇田) 入山 一三
小走りに帰る散歩や大夕立 (七日市) 金田きみ子
夏の夜の夢にもならふ点字かな (野上) 小金沢基久江
夏椿話し上手に聞き上手 (後賀) 湯山 典子
牛伏山の城の紫陽花雨の中 (南後箇) 齋藤 繁一
つまみ食い見つけたり逃げの蹴足かな (曾木) 曾根はるな重三
白い歯が笑うと目立つ日焼けかな (曾木) 曾根 静華 中二

短歌 宮前しづゑ 選

との曇るままに暮れゆく山里に鯛しげく今宵の葉閉ぢぬ (下丹生) 松本 久枝
赤々と越後の海に沈みゆく夕陽に深く今暈をする (下高尾) 金田てるじ
万葉にあまた詠まれし萩の苗師の賜ひたり花咲き初めぬ (七日市) 恩幣 森造
高校野球点入るたびに応援の大根おどりアップに写る (下高尾) 小林 勝明
農継ぎて六十の年流れ田植をすませて喜寿迎へたり (神成) 深澤 泉
昼下がり軽井沢の森に人気なく栗の花の香漂ひてをり (上丹生) 高橋 恵子
富士見高原ゆるりリフトの足の下黄色の百合のきそひ咲きをり (白岩) 金井 幸子
郷土作家二十一名の絵画展その力作に心奪はる (七日市) 飯塚有紀子
紫陽花の根本に咲ける千葉の小さく白き花すがすがし (七日市) 宮 和子

川柳 黛 猛 選

蛇が出て今日は草刈り中止する (二ノ宮) 保坂 敏夫
襖開け茶でも飲もうと雨続き (二ノ宮) 田島 悦子
あの人は支払う時にうまく酔い (富岡) 湯浅サチ子
八十の手習いになお夢をかけ (野上) 飯塚 邦武
表札に守られている寡婦七年 (富岡) 田島八千代
子等の声聞こえ夏本番となる (富岡) 黒沢 繁
婆唄う孫は難語で音頭とる (二ノ宮) 大野 里子
誘わずに黙って行った天の邪鬼 (富岡) 大河原富美
老々がいたわり合って古希の坂 (富岡) 金井 君代
我が家でも畳表を替えました (上高瀬) 峰岸十四男

近代産業の夜明け

富岡の 明治維新

(81)

明治13年11月5日に政府は「工場払下概則」を出し、官営工場を民間に払い下げの方針を決めたことは、すでに何度か記したとおりである。この時、対象になった工場は「政治上あえて必要でないもの」と「工業勧誘のために模範を示すだけのもの」という工場で、具体的には次の工場であった。

千住製絨所・第一綿糸紡績所(愛知紡績所)・第二綿糸紡績所(広島紡績所)・新町紡績所・富岡製糸所・石炭酸製造所・砂糖製造所(絨製糖所)・赤羽工作分局・赤羽根木具塗物場・深川工作分局・兵庫工作分局・長崎工作分局・深川白煉化製造所・品川工作分局



これらの内の大部分は、前に取り上げた、農商務省の臨時事業に分類されたものであることに注目してお

きたい。なお、実際にはやがて14カ所以外の工場が対象になった。しかし、富岡製糸所が順調に払い下げにならなかったと同様に、他の工場も払い下げが実現しないために、明治17年10月には「工場払下概則」が廃止され、その都度個別に審議することになり、以後、長期分割と低価格で三井・三菱・住友・古河・浅野・大倉などの政商資本家に払い下げられたのである。

このうち例外的な工場が、新町紡績所であった。「工場払下概則」が出された翌14年には、勝山宗三郎(群馬)・松本源五郎(群馬)・青木伝二郎(埼玉)・原六郎(東京)が名乗りを上げ、一時は勝山の手に落ちそうになったが、払下金の問題で取りやめとなった。結果的には明治20年5月に三井が14万1,000円で払い下げた。

なお、群馬県内ではもう一つの官営工場であった中小坂鉄山(下仁田町中小坂)はもっと早く、明治17年7月には、坂本弥八ほか、2万8,575円で払い下げられている。規模が大き過ぎる富岡製糸所は、明治26年まで残るのであった。

(今井 幹夫)

富岡製糸場の歴史を紹介しています。過去に掲載されたものを見たい場合は市長公室にお問い合わせください。